

# 新庁舎建設基本設計がまとまりました

～豊岡固有の自然・歴史・伝統・文化を大切にすまちづくりの象徴として～



▲外観イメージ

市では、新庁舎建設に向けて、外観のイメージや建設位置などをまとめた「基本設計」を作成しました。この基本設計に基づいて、実施設計に着手します。新庁舎の完成は平成25年3月の予定です。

《問合せ》新庁舎建設推進室 ☎21-9020

## 新庁舎建設の概要

- ▽建設地 現在地
- ▽建築面積 約3,300平方メートル
- ▽延床面積 約1万4千平方メートル
- ▽構造 鉄筋コンクリート造
- ▽階数 地上7階建
- ▽高さ 約35メートル

## 設計コンセプト

### ○庁舎と街並み・新庁舎と現本庁舎との調和

約80年間親しまれてきた現本庁舎を中心に、今後も親しまれ、街並みに調和した庁舎とします。

### ○災害対策への配慮

高い安全性と機能性を確保し、市民の安全を守るシンボルとします。

### ○環境への配慮

積雪や寒暖の差が大きい気候を考慮した環境配慮技術を積極的に導入します。

### ○ライフサイクルコストの削減

コストを徹底的に検討し、環境負荷の低減を図ります。

## 配置計画

・現本庁舎を、現位置より南に約20メートル移設します。  
・現本庁舎を中心にシンメト

リー(対称性)を基本とします。

・現本庁舎のシンボル性を高めるため、新庁舎低層部より、南に配置します。

・圧迫感を与えないような位置に建物を配置します。

・南側にイベントなどに活用できる市民広場を配置します。あわせて、中庭を設けることにより、やすらぎの空間を創出します。

・来庁手段に対応した出入口を設け、北側に駐車場を配置するなど、利便性を確保します。

## 現本庁舎の活用

豊岡固有の自然・歴史・伝統・文化を大切にすまちづくりの基本理念のもと、保存し、活用します。

### ▽1階 交流センター(仮称)として、市民広場とあわせて、市民の皆さんの交流とにぎわいの場とします。

▽2階 豊岡市政の歴史を刻む場として、議場とします。

▽3階 建築基準法上そのまま活用することが難しいため、現在、国や県などと協

## 新庁舎の階層イメージ

▽1階 来庁者の多い市民課や税務課など市民生活部を配置します。

▽2階 来庁者の比較的多い経済部やコウノトリ共生部を配置します。

▽3階 市長・副市長室および防災課など、災害時に中核となる機能を配置します。

▽4～6階 基本として、仕切りのないワンフロアに各部署を配置します。南側を執務ゾーンとし、北側に書庫や会議室などを配置します。

▽7階 南側を議会ゾーンとし、北側には、電気室、自家発電機室などを配置します。



